

教師の態度／行動に関するアンケート^{*注1}

説明：学校や園で、以下のようなことが起きたときに、あなたがどのように対応するか、1（全く当てはまらない）から7（よく当てはまる）で示してください。各項目を注意深く読んで、なるべく思った通りに正直にお答えください。回答は、1-7の数字から、それぞれ一つを選択してください。

回答尺度： 1 2 3 4 5 6 7
 全く当てはまらない どちらともいえない よく当てはまる

場面A（英語版 場面2）． もし、私の教え子が、うっかり教室のものを壊してしまい、

動揺して泣いていたら、私は：

- a. 落ち着いて、私自身が不安にならないようにする
(1 2 3 4 5 6 7)
- b. 教え子を慰めて、起きたことを忘れさせようとする
(1 2 3 4 5 6 7)
- c. 教え子に、大きさに反応しすぎだと伝える
(1 2 3 4 5 6 7)
- d. 教え子が壊れたものを直す方法を見つけるための手助けをする
(1 2 3 4 5 6 7)
- e. 教え子に、泣いてもいいと伝える
(1 2 3 4 5 6 7)
- f. 教え子に、泣きやまないなら、しばらく遊具で遊んではいけないと伝える
(1 2 3 4 5 6 7)

¹ 注. オリジナルの英語版のアンケートは全 12 場面（場面 1～12）から構成されるが、日本での適用にあたって、場面 1, 4, 8 の 3 場面については、日本の学校・園生活に馴染みにくい状況であるとの理由で削除し（場面 1: 米国では参加費未払い等の事情でクラスの活動（遠足等）に全員が参加しない場合があるが、日本では病欠等を除いてクラスの全体活動に個人が不参加となる状況が生じにくいいため、場面 4: 日本では学校における集団接種が廃止され、現在は実施されていないため、場面 8: 米国では学校のイベント等でカードや贈り物を持っていく場合

Supplementary Material 1

があるが、日本では基本的に学校生活に不要なものの持ち込みが禁止されているため)、残り 9 場面 (場面 A~I) を使用することとした。削除した 3 場面の日本語翻訳は、参考情報として資料の末尾に掲載した。

場面B (英語版 場面3) . もし私の教え子が大切にしているものを失くして涙を浮か

べていたら, 私は:

- a. 教え子が不注意なことや, それで泣いていることにイライラする
(1 2 3 4 5 6 7)
- b. 教え子に, 大きさに反応しすぎだと伝える
(1 2 3 4 5 6 7)
- c. 教え子がまだ探していない場所を考えるための手助けをする
(1 2 3 4 5 6 7)
- d. 何かうれしい話をして, 教え子の気をまぎらわす
(1 2 3 4 5 6 7)
- e. 教え子に, 悲しいときは泣いてもいいと伝える
(1 2 3 4 5 6 7)
- f. 教え子に, あなたが不注意だから, こういうことが起きるのだと伝える
(1 2 3 4 5 6 7)

場面C (英語版 場面5) . もし, 私の教え子が難しい作業をしているときに, 私がそ

ばにいられないので, 緊張して動揺していたら, 私は:

- a. 一人で作業をすることがいかに簡単かを話して, 教え子の気をまぎらわす
(1 2 3 4 5 6 7)
- b. 私なしで作業をすることが怖くなくなるように, 教え子ができそうなこと (例. 問題について自分自身と話す) を考える手助けをする
(1 2 3 4 5 6 7)
- c. 教え子に, 大きさに反応して赤ちゃんみたいになるのをやめるよう伝える
(1 2 3 4 5 6 7)
- d. 教え子に, そんな風にするのをやめないと, 今日は自由時間をあげないと伝える
(1 2 3 4 5 6 7)
- e. 教え子の態度に動揺して, 不快な気持ちになる
(1 2 3 4 5 6 7)
- f. 教え子に, 緊張した気持ちについて話すよう促す
(1 2 3 4 5 6 7)

場面D (英語版 場面6) . もし、私の教え子が、友達と一緒にするグループ活動で失

敗し、恥ずかしそうな顔つきで泣きそうになっていたら、私は：

- a. 教え子を慰めて、気分がよくなるようにする
(1 2 3 4 5 6 7)
- b. 教え子に、大きさに反応しすぎだと伝える
(1 2 3 4 5 6 7)
- c. 私自身が不快な気持ちになったり、恥ずかしく感じたりする
(1 2 3 4 5 6 7)
- d. 教え子に、しゃんとしなければ、グループから抜けなくてはいけなくなると伝える
(1 2 3 4 5 6 7)
- e. 教え子に、恥ずかしい気持ちを話すよう促す
(1 2 3 4 5 6 7)
- f. 教え子に、次はもっとうまくできるように、私が練習を手伝うと伝える
(1 2 3 4 5 6 7)

場面E (英語版 場面7) . もし、私の教え子が、発表会やスポーツ活動の出番前に、大

勢の人が自分を見ていることに、明らかに緊張していたら、私は：

- a. 教え子が自分の出番の準備のためにできそうなことを考える手助けをする (例. ウォーミングアップをする、観衆を見ないようにする)
(1 2 3 4 5 6 7)
- b. 教え子の緊張が消えるように、何かリラックスできることを考えるようアドバイスする
(1 2 3 4 5 6 7)
- c. 落ち着いて、私自身が緊張しないようにする
(1 2 3 4 5 6 7)
- d. 教え子に、それでは赤ちゃんみたいだと伝える
(1 2 3 4 5 6 7)
- e. 教え子に、落ち着かなければ、参加することはできないと伝える
(1 2 3 4 5 6 7)
- f. 教え子に、緊張する気持ちを話すよう促す
(1 2 3 4 5 6 7)

場面F (英語版 場面9) . もし、私の教え子が、他の子どもと何か怖いことについて

話した後に、パニックになり集中できなくなったら、私は：

- a. 教え子に、何が怖かったか話すように促す
(1 2 3 4 5 6 7)
- b. 教え子の愚かさにイライラする
(1 2 3 4 5 6 7)
- c. 教え子に、大きさに反応しすぎだと伝える
(1 2 3 4 5 6 7)
- d. 教え子が作業にとりかかれるように、やるべきことを考える手助けをする (例. そのことを考えない、作業に集中する)
(1 2 3 4 5 6 7)
- e. 教え子に、静かにできなければ、もう学校 (園) でその友達と話してはいけないと伝える
(1 2 3 4 5 6 7)
- f. 教え子が怖いことを忘れられるように、何か一緒に楽しいことをする
(1 2 3 4 5 6 7)

場面G (英語版 場面10) . もし私の教え子が、休み時間に他の子どもたちに意地悪

をされて一緒に遊んでもらえず、泣き出しそうだったら、私は：

- a. 私自身が動揺しないようにする
(1 2 3 4 5 6 7)
- b. 教え子に、もし泣きはじめたら、仲間には加われないと伝える
(1 2 3 4 5 6 7)
- c. 教え子に、イヤな気持ちのときは泣いてもいいと伝える
(1 2 3 4 5 6 7)
- d. 教え子を慰めて、何かうれしいことを考えるようにさせる
(1 2 3 4 5 6 7)
- e. 教え子が何か他のことをするのを考えるための手助けをする
(1 2 3 4 5 6 7)
- f. 教え子に、そのうち気分はよくなると伝える
(1 2 3 4 5 6 7)

場面H (英語版 場面11) . もし、私の教え子が他の子どもたちと遊んでいるときに、

その中の一人から悪口を言われて震えはじめ、涙ぐんでいたら、私は:

a. 教え子に、大したことではないと伝える

(1 2 3 4 5 6 7)

b. 私自身が動揺する

(1 2 3 4 5 6 7)

c. 教え子に、ちゃんとできないなら、その遊びから抜けなくては行けないと伝える

(1 2 3 4 5 6 7)

d. 教え子が他の子どもたちからかわれたときにする前向きなこと (例、他の楽しみを見つける) を考えるための手助けをする

(1 2 3 4 5 6 7)

e. 教え子を慰めて、その動揺する出来事を忘れられるように一緒に遊ぶ

(1 2 3 4 5 6 7)

f. 教え子に、からかわれてどんなに辛いかを話すよう促す

(1 2 3 4 5 6 7)

場面I (英語版 場面12) . もし、訪問者がクラスに来るたびに、私の教え子が、知らな

い人に気後れしたり怖がったりして、いつも無口で引っ込み思案になっていた

ら、私は:

a. 新しい人と会うことが怖いと感じにくくなる方法を教え子が考えるための手助けをする

(1 2 3 4 5 6 7)

b. 教え子に、緊張してもいいと伝える

(1 2 3 4 5 6 7)

c. 新しい人々と会うことがどんなに楽しいかを話して、教え子を喜ばせようとする

(1 2 3 4 5 6 7)

d. 教え子の態度に動揺して、不快な気持ちになる

(1 2 3 4 5 6 7)

e. 教え子に、きちんとお客さんとかかわらないといけないと伝える

(1 2 3 4 5 6 7)

f. 教え子に、赤ちゃんみたいで未熟だと伝える

Supplementary Material 1

(1 2 3 4 5 6 7)

日本語版 教師用子どものネガティブ感情への対応尺度 (CCNES-T)

目的： 苦痛な状況における子ども（就学前～小学校低学年）のネガティブな感情に対して、教師が、自分がどのように対応すると認識しているのかを測定するための尺度です。6つの下位尺度は、教師がこれらの状況で使用する傾向のある具体的な反応を表しています。

【下位尺度】

I. 苦痛反応 (Distress Reactions : DR)

これらの項目は、子どもがネガティブ感情を表出したときに教師が苦痛を感じる程度を表します。

※得点化： 9項目の平均 (A-a*, B-a, C-e, D-c, E-c*, F-b, G-a*, H-b, I-d)

*印は、逆転項目

II. 懲罰対応 (Punitive Reactions : PR)

これらの項目は、教師が子どものネガティブな感情にさらされることや対処する必要を減らすような懲罰対応によって反応する程度を表します。

※得点化： 9項目の平均 (A-f, B-f, C-d, D-d, E-e, F-e, G-b, H-c, I-e)

III. 感情表出奨励対応 (Expressive Encouragement : EE)

これらの項目は、教師が子どもにネガティブな感情を表出するよう促したり、子どものネガティブな感情状態を認めたりする程度（「悲しみを感じてもいい」等）を表します。

※得点化： 9項目の平均 (A-e, B-e, C-f, D-e, E-f, F-a, G-c, H-f, I-b)

IV. 感情焦点対応 (Emotion-Focused Reactions : EFR)

これらの項目は、教師の、子どもの気分がよくなるのを手助けするような方略で対応する程度（子どものネガティブな感情が変化するよう働きかける等）を表します。

※得点化： 9項目の平均 (A-b, B-d, C-a, D-a, E-b, F-f, G-d, H-e, I-c)

V. 問題焦点対応 (Problem-Focused Reactions : PFR)

これらの項目は、苦痛の原因となっている問題を子どもが解決するのに教師が手助けする程度（問題解決やストレスへの対処を手助けする等）を表します。

※得点化： 9項目の平均 (A-d, B-c, C-b, D-f, E-a, F-d, G-e, H-d, I-a)

VI. 最小化対応 (Minimization Reactions : MR)

これらの項目は、教師が状況の深刻さを最小化したり、子どもの問題や苦痛反応を無価値化したりする程度を表します。

※得点化： 9項目の平均 (A-c, B-b, C-c, D-b, E-d, F-c, G-f, H-a, I-f)

■ 参考情報

『日本語版 教師用子どものネガティブ感情への対応尺度 (CCNES-T)』から削除した3場面 (英語版 場面1, 4, 8) の状況と項目の日本語翻訳及び各項目に対応する下位尺度名

場面1. もし、私の教え子が、クラスの社会的活動 (遠足など) に参加できず怒っていたら、
私は:

- a. 教え子の気持ちを落ち着かせるために、他の部屋に行かせる (懲罰対応: PR)
- b. 教え子に腹を立てる (苦痛反応: DR)
- c. 教え子が参加できる別の方法 (例、他の活動に参加する) を考えるための手助けをする (問題焦点対応: PFR)
- d. 教え子に、活動に参加できないくらい大したことではないと伝える (最小化対応: MR)
- e. 教え子に、怒りや不満な気持ちを表に出すよう促す (感情表出奨励対応: EE)
- f. 活動に参加できなかったことについて、教え子をなだめて、気分がよくなるように、何か一緒に楽しいことをする (感情焦点対応: EFR)

場面4. もし、私の教え子が、保健室で注射の順番を待っているときに、注射を打つことを
こわがり、とても震えて涙目になっていたら、私は:

- a. 教え子に、しゃきつとしないと、やりたいこと (例、休憩する) をさせてあげないと伝える (懲罰対応: PR)
- b. 教え子に、怖いと思う気持ちを話すよう促す (感情表出奨励対応: EE)
- c. 教え子に、注射くらい大したことではないと伝える (最小化対応: MR)
- d. 教え子に、泣いて私たちに恥ずかしい思いをさせないでと伝える (苦痛反応: DR)
- e. 注射の前や終わった後に、教え子を慰める (感情焦点対応: EFR)
- f. 教え子に、どうすれば痛みが減るかを話す (リラックスすると痛くないことや、深呼吸することなど) (問題焦点対応: PFR)

場面8. もし、私の教え子が、友達からもらった贈り物やカードを友達の前で開けて、どう
見てもがっかりしており、さらにムツとしているように見えたら、私は:

- a. 教え子に、がっかりした気持ちを表に出すよう促す (感情表出奨励対応: EE)
- b. 教え子に、プレゼントは何か欲しいものと交換できると伝える (問題焦点対応: PFR)
- c. 教え子が失礼なことに、私自身がムツとしないようにする (苦痛反応: DR) *逆転項目
- d. 教え子に、大きさに反応しすぎだと伝える (最小化対応: MR)
- e. 友達の子の気持ちに無神経なことについて、教え子を叱る (懲罰対応: PR)

Supplementary Material 1

- f. 何か楽しいことをして、教え子の気分がよくなるようにする (感情焦点対応：EFR)

Table S1

日本語版CCNES-Tの確証的因子分析の結果 (6因子モデル)

No.	項目	因子負荷量					
第1因子「苦痛反応 (Distress Reactions : DR)」 $\alpha = .77$							
D-c	私自身が不快な気持ちになったり、恥ずかしく感じたりする	.86					
F-b	教え子の愚かさにイライラする	.82					
C-e	教え子の態度に動揺して、不快な気持ちになる	.79					
I-d	教え子の態度に動揺して、不快な気持ちになる	.75					
B-a	教え子が不注意なことや、それで泣いていることにイライラする	.66					
H-b	私自身が動揺する	.54					
A-a*	落ち着いて、私自身が不安にならないようにする	.18					
E-c*	落ち着いて、私自身が緊張しないようにする	.08					
G-a*	私自身が動揺しないようにする	.07					
第2因子「懲罰対応 (Punitive Reactions : PR)」 $\alpha = .89$							
E-e	教え子に、落ち着かなければ、参加することはできないと伝える	.84					
D-d	教え子に、しゃんとしなければ、グループから抜けなくてはいけなくなると伝える	.83					
C-d	教え子に、そんな風にするのをやめないと、今日は自由時間をあげないと伝える	.82					
G-b	教え子に、もし泣きはじめたら、仲間には加われないと伝える	.79					
F-e	教え子に、静かにできなければ、もう学校(園)でその友達と話してはいけないと伝える	.77					
H-c	教え子に、ちゃんとできないなら、その遊びから抜けなくてはいけないと伝える	.75					
A-f	教え子に、泣きやまないなら、しばらく遊具で遊んではいけないと伝える	.68					
B-f	教え子に、あなたが不注意だから、こういうことが起きるのだと伝える	.49					
I-e	教え子に、きちんとお客さんとかかわらないといけないと伝える	.40					
第3因子「最小化対応 (Minimization Reactions : MR)」 $\alpha = .86$							
E-d	教え子に、それでは赤ちゃんみたいだと伝える	.86					
D-b	教え子に、大きさに反応しすぎだと伝える	.76					
I-f	教え子に、赤ちゃんみたいで未熟だと伝える	.75					
C-c	教え子に、大きさに反応して赤ちゃんみたいになるのをやめるよう伝える	.73					
B-b	教え子に、大きさに反応しすぎだと伝える	.66					
F-c	教え子に、大きさに反応しすぎだと伝える	.66					
H-a	教え子に、大したことではないと伝える	.54					
A-c	教え子に、大きさに反応しすぎだと伝える	.49					
G-f	教え子に、そのうち気分はよくなると伝える	.27					
第4因子「感情表出奨励対応 (Expressive Encouragement : EE)」 $\alpha = .83$							
E-f	教え子に、緊張する気持ちを話すよう促す	.69					
B-e	教え子に、悲しいときは泣いてもいいと伝える	.67					
G-c	教え子に、イヤな気持ちのときは泣いてもいいと伝える	.66					
I-b	教え子に、緊張してもいいと伝える	.61					
C-f	教え子に、緊張した気持ちについて話すよう促す	.61					
A-e	教え子に、泣いてもいいと伝える	.60					
D-e	教え子に、恥ずかしい気持ちを話すよう促す	.56					
H-f	教え子に、からかわれてどんなに辛いかを話すよう促す	.52					
F-a	教え子に、何か怖かったか話すように促す	.44					
第5因子「感情焦点対応 (Emotion-Focused Reactions : EFR)」 $\alpha = .78$							
F-f	教え子が怖いことを忘れられるように、何か一緒に楽しいことをする	.68					
E-b	教え子の緊張が消えるように、何かリラックスできることを考えるようアドバイスする	.68					
G-d	教え子を慰めて、何かうれしいことを考えるようにさせる	.68					
H-e	教え子を慰めて、その動揺する出来事を忘れられるように一緒に遊ぶ	.66					
I-c	新しい人々と会うことがどんなに楽しいかを話して、教え子を喜ばせようとする	.64					
D-a	教え子を慰めて、気分がよくなるようにする	.59					
B-d	何かうれしい話をして、教え子の気をまぎらわす	.37					
C-a	一人で作業をすることがいかに簡単かを話して、教え子の気をまぎらわす	.21					
A-b	教え子を慰めて、起きたことを忘れさせようとする	.15					
第6因子「問題焦点対応 (Problem-Focused Reactions : PFR)」 $\alpha = .83$							
E-a	教え子が自分の出番の準備のためにできそうなことを考える手助けをする (例、ウォーミングアップをする、観衆を見ないようにする)	.71					
I-a	新しい人と会うことが怖いと感じにくくなる方法を教え子が考えるための手助けをする	.66					
G-e	教え子が何か他のことをするのを考えるための手助けをする	.65					
F-d	教え子が作業にとりかかれるように、やるべきことを考える手助けをする (例、そのことを考えない、作業に集中する)	.63					
B-c	教え子がまだ探していない場所を考えるための手助けをする	.62					
H-d	教え子が他の子どもたちからかわれたときにする前向きなこと (例、他の楽しみを見つける) を考えるための手助けをする	.61					
C-b	私なしで作業をすることが怖くなくなるように、教え子ができそうなこと (例、問題について自分自身と話す) を考える手助けをする	.59					
D-f	教え子に、次はもっとうまくできるように、私が練習を手伝うと伝える	.56					
A-d	教え子が壊れたものを直す方法を見つけるための手助けをする	.39					
因子間相関							
	DR	PR	MR	EE	EFR	PFR	
	DR	-	.90	.91	-.24	-.32	-.53
		PR	-	.97	-.19	-.33	-.54
			MR	-	-.21	-.28	-.52
				EE	-	.52	.54
					EFR	-	.90
						PFR	-

注) *印は、逆転項目。

Citation:

Mizokawa, A., & Imaizumi, K. (2024). Development of a Japanese version of the Coping with Children's Negative Emotions Scale-Teacher Form (CCNES-T). *The Japanese Journal of Personality*, 33(1), 61-64.
<https://doi.org/10.2132/personality.33.1.8>